

寒中 はがき



『喪中はがき・年賀はがきのご返信に』

松の内(1月1日～1月7日)があけてから立春(2月4日頃)までの間



株式会社 栄光堂印刷所

〒551-0002 大阪市大正区三軒家東1-2-9
TEL 06-6551-3456 FAX 06-6554-6550

寒中挨拶文は、寒中はがき文例集（カー1～カー8）よりお選び下さい。



寒中 601 (カラー)



寒中 602 (カラー)



寒中 603 (カラー)



寒中 604 (カラー)



寒中 605 (カラー)

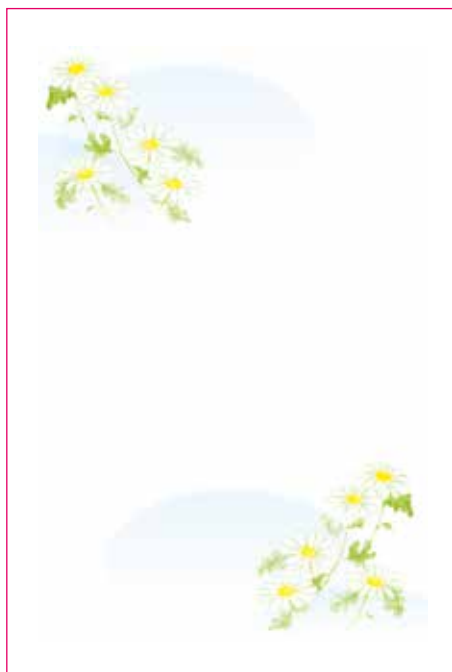


寒中 606 (カラー)

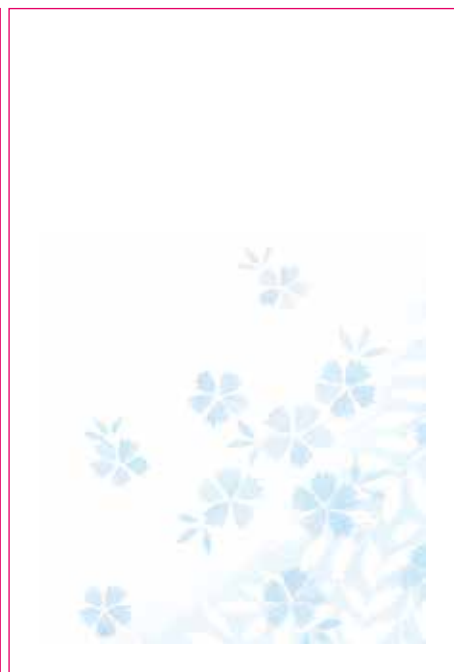
寒中挨拶文は、寒中はがき文例集（カー1～カー8）よりお選び下さい。



寒中 607 (カラー)



寒中 608 (カラー)



寒中 609 (カラー)



寒中 610 (カラー)

寒中挨拶文は、寒中はがき文例集（カー1～カー8）よりお選び下さい。



寒中 201 (モノクロ)



寒中 202 (モノクロ)



寒中 203 (モノクロ)



寒中 204 (モノクロ)



寒中 205 (モノクロ)



寒中 206 (モノクロ)

「寒中」の意味

一般的には「寒中」とは、二十四節気にじゅうしせつきの小寒しょうかんから大寒だいかんまでの間といわれています。二十四節気とは1年を24の節目で区分する暦の区分法です。その24の区分で有名なところでは、「春分」「秋分」「夏至」「冬至」などがあります。

四季の開始を意味する「立春」「立夏」「立秋」「立冬」も有名です。その中で、1年の最後に来る節目が「小寒」「大寒」です。「小寒」は冬の寒さが厳しくなり始めるころであり、「大寒」は冬の寒さが最も厳しいころです。因みに、このころに「寒稽古」や「寒中みそぎ」が行われます。そして、この後に来る節気が「立春」春の始まりです。

つまり、「寒中」とは小寒から立春の直前までを指します。

「松の内」

「松の内」とは、正月飾りである松飾り（門松など）を飾っている期間、という意味です。この間は正月であるということで、年賀状を出してもいいことになっています。従って、年賀状の代わりに「寒中見舞い」を送る場合は「松の内」を過ぎてから出すのが一般的です。

松の内は実は地域によっても異なったりするのですが、一般的には1月7日までとするところが多いようです。

寒中はがき文例集

寒中お見舞い申し上げます

この度はご丁寧なお年始状を頂き誠に有難うございました
昨年は喪中のため年頭のご挨拶を失礼させていただきました
暖かな春の訪れまでもう少し
皆様ご自愛くださいますようお願い申し上げます
令和 年一月

〒550-0014 大阪市西区北堀江二丁目二番二号

印刷様式

TEL(06)六五五五-五五五五

カー2

寒中お見舞い申し上げます

この度はご丁寧なお年始状を頂き有難うございました
昨年は喪中につき新年のご挨拶を失礼させていただきました
寒さ厳しき折柄皆様のご健勝をお祈り申し上げます
令和 年一月

〒551-0002 大阪市大正区三軒家東一丁目一番一号

印刷様式

TEL(06)六三三三-三三三三

カー1

寒中お見舞い申し上げます

この度はご丁寧なご挨拶を頂きまして有難うございます
春の暖かさが待ち遠しい日々ですが
皆様ご自愛くださいますようお願い申し上げます
令和 年一月

〒553-0005 大阪市福島区野田五丁目五番五号

印刷様式

TEL(06)六七七七-七七七七

カー4

寒中お見舞い申し上げます

この度はご丁寧なご挨拶を頂きまして有難うございます
昨年十二月に祖父が永眠いたしましたため
年頭のご挨拶を控えさせていただきました
寒さ厳しき折柄皆様のご健勝をお祈り申し上げます
令和 年一月

〒530-0005 大阪市北区中之島三丁目三番二号

印刷様式

TEL(06)六六六六-六六六六

カー3

